

# 運輸安全マネジメント

【2023年度：2023年4月1日 ～ 2024年3月31日】

2023年4月1日

(貨物自動車運送事業法第24条3項で定める輸送の安全に関わる情報)

株式会社M.S.C輸送

	項目	詳細																																
1	輸送の安全に関する基本方針	1 <u>安全最優先</u> を掲げ、輸送の安全確保が最も重要という意識向上。 2 <u>安全最優先</u> が、最大の顧客満足（品質第一）に繋がる事の自覚。																																
2	自動車事故報告規則に規定する事故に関する統計	<b>2022年度 交通事故発生状況</b> <table><tbody><tr><td>① 転覆・転落</td><td>0</td><td>件</td><td>⑤ 死傷</td><td>0</td><td>件</td><td>※ 重大事故</td><td>0件</td></tr><tr><td>② 火災</td><td>0</td><td>件</td><td>⑥ 車両故障</td><td>0</td><td>件</td><td>※ 人身事故</td><td>1件</td></tr><tr><td>③ 踏切</td><td>0</td><td>件</td><td>⑦ 健康起因</td><td>0</td><td>件</td><td>※ 物損事故</td><td>4件</td></tr><tr><td>④ 衝突</td><td>0</td><td>件</td><td>⑧ その他</td><td>0</td><td>件</td><td>※ 貨物事故</td><td>0件</td></tr></tbody></table>	① 転覆・転落	0	件	⑤ 死傷	0	件	※ 重大事故	0件	② 火災	0	件	⑥ 車両故障	0	件	※ 人身事故	1件	③ 踏切	0	件	⑦ 健康起因	0	件	※ 物損事故	4件	④ 衝突	0	件	⑧ その他	0	件	※ 貨物事故	0件
① 転覆・転落	0	件	⑤ 死傷	0	件	※ 重大事故	0件																											
② 火災	0	件	⑥ 車両故障	0	件	※ 人身事故	1件																											
③ 踏切	0	件	⑦ 健康起因	0	件	※ 物損事故	4件																											
④ 衝突	0	件	⑧ その他	0	件	※ 貨物事故	0件																											
3	安全に関する基本方針に基づく目標数値	<b>2023年度 目標数値</b> <table><tbody><tr><td>① 転覆・転落</td><td>0</td><td>件</td><td>⑤ 死傷</td><td>0</td><td>件</td><td>※ 重大事故</td><td>0件</td></tr><tr><td>② 火災</td><td>0</td><td>件</td><td>⑥ 車両故障</td><td>0</td><td>件</td><td>※ 人身事故</td><td>0件</td></tr><tr><td>③ 踏切</td><td>0</td><td>件</td><td>⑦ 健康起因</td><td>0</td><td>件</td><td>※ 物損事故</td><td>0件</td></tr><tr><td>④ 衝突</td><td>0</td><td>件</td><td>⑧ その他</td><td>0</td><td>件</td><td>※ 貨物事故</td><td>0件</td></tr></tbody></table>	① 転覆・転落	0	件	⑤ 死傷	0	件	※ 重大事故	0件	② 火災	0	件	⑥ 車両故障	0	件	※ 人身事故	0件	③ 踏切	0	件	⑦ 健康起因	0	件	※ 物損事故	0件	④ 衝突	0	件	⑧ その他	0	件	※ 貨物事故	0件
① 転覆・転落	0	件	⑤ 死傷	0	件	※ 重大事故	0件																											
② 火災	0	件	⑥ 車両故障	0	件	※ 人身事故	0件																											
③ 踏切	0	件	⑦ 健康起因	0	件	※ 物損事故	0件																											
④ 衝突	0	件	⑧ その他	0	件	※ 貨物事故	0件																											
4	輸送の安全に関する重点取り組み事項	<b>1 全国交通安全運動への積極的な参加</b> ・ 年2回（春・秋）行われる期間内において事前に安全教育を実施し、事故ゼロを達成する。 <b>2 安全推進者による定期的な個人面談（指導）の実施</b> ・ デジタルタコグラフおよびドライブレコーダーの実績から各乗務員へ定期的な指導を実施する。 ・ 随時、運転適性診断を受診させ、自身の弱点を認識すると共に、防衛運転遂行の為の教育を実施する。 <b>3 乗務員に対して安全に関する教育を実施</b> ・ 毎月行われる、安全会議において、ヒヤリ・ハット情報の共有。事故事例をもとに検討会を実施。																																
6	輸送の安全に関する情報共有および情報交換方法	<b>1 安全会議にて情報共有を行う。</b> ※ 不参加の場合は後日議事録を確認。 <b>2 危険箇所等の情報共有は、乗務員より安全推進者へ報告。安全推進者より全乗務員へ一斉伝達する。</b> ※ 社内共通使用しているLINEアプリを活用する。																																
7	事故・災害等に関する報告連絡体制	1 社内規定により緊急連絡要綱策定。 2 全車両へ緊急連絡先一覧を配備。																																
8	安全統括管理者	安全管理推進者 代表取締役 社長 松山 佳正 【2020年8月16日付 選任】																																